

2006 秋号（第7号）

四国産業保安情報

■行事報告

- ①「電気使用安全月間」関係行事の開催結果 1
- ②平成18年度四国地区発電所長並びにボイラー・タービン主任技術者
会議開催結果 2
- ③保安技術職員等研修「車両系鉱山機械」開催結果 3
- ④保安技術職員等研修「火薬類・発破」開催結果 4
- ⑤平成18年度徳島、高知、愛媛地区保安懇談会開催結果 5

■トピックス

- 製品安全対策に係る総点検結果のとりまとめ及びガス事故報告の徹底に
ついて 6

■お知らせ

- 庁舎の移転について 11

■組 織

- 中国四国産業保安監督部四国支部職員（平成18年10月1日現在） 12

■行事予定 平成18年10～12月行事予定 12

■災害・事故情報

- ①平成18年四国管内電気事故発生件数（7～9月） 13
- ②平成18年四国管内事故発生件数（1～8月） 13
- ③平成18年四国管内鉱種別鉱山災害発生状況（1～7月） 13
- ④電気事故情報 14

■編集後記 16

■災害・事故等発生時の緊急連絡先 16

中国四国産業保安監督部四国支部発行

行事報告

「電気使用安全月間」関係行事の開催結果

電力安全課

経済産業省では、感電死傷事故の発生しやすい8月を「電気使用安全月間」と定め、全国的に安全運動を展開しています。

当支部が今年度実施しました三つの主要行事について、その結果を報告します。

◇電気保安功労者原子力安全・保安院長表彰式◇

電気保安功労者の表彰制度は、広く保安意識の高揚を図ることを目的として永年にわたり電気関係業務に従事し電気保安に顕著な功績のあった者を表彰する制度であり、電気保安行政の一環として昭和39年度から全国的に実施しているものです。

平成18年度は、8月1日（火）にホテルニューフロンティア（高松市）において以下のとおり原子力安全・保安院長表彰式を行いました。

【受賞者（敬称略）】

電気工事業者の営業所の部（8件）

西武電工株式会社
有限会社佐藤電機工業所
有限会社島田電化センター
有限会社イシダ
有限会社井上電気
近藤電設株式会社
有限会社山中電設
有限会社野村電業社

個人の部（5名）

元木 豊和（元木電気工事）
立川 廣太郎（立川電機）
田中 昇（有限会社田中電機）
毛利 峰壽（佐藤電機工業所）
伊藤 綱男（有限会社石峰電気商会）

なお、同日、東京においても経済産業大臣表彰式が執り行われ、四国管内から、次の方々が表彰を受けられました。

工場等の部

三洋電機株式会社モバイルエネルギーカンパニー 徳島工場

電気工事業者の営業所の部

株式会社常光電機

個人の部

谷田 丞志（谷田電機工業所）



＜電気安全セミナー＞

◇電気使用安全月間街頭キャンペーン◇

8月2日（水）12時から高松南部三町ドーム（高松市内商店街の田町、常磐町、南新町の交差点）付近にて、電気使用安全に関するチラシやうちわ等のPR用品を配布し、電気安全についての呼びかけを行いました。

◇電気安全セミナー◇

電気事故の未然防止を喚起する観点から、電気主任技術者等を対象（参加人数合計1,032名）に、電気使用安全月間の主旨、電気事故の事例等について説明するとともに、電気保安講演会を行いました。

【開催日、開催会場及び参加人数】

8月 3日（木）松山市総合コミュニティセンター（224名）
8月 4日（火）ユアーズ（165名）
8月 7日（月）高松商工会議所会館（285名）
8月 8日（火）徳島JA会館（205名）
8月 9日（水）高知電気ビル（153名）

平成18年度四国地区発電所長並びにボイラー・タービン主任技術者会議開催結果

電力安全課

平成18年9月7日（木）～8日（金）にかけて、リーガロイヤルホテル新居浜において「平成18年度四国地区発電所長並びにボイラー・タービン主任技術者会議」を開催しました。

この会議は、四国管内においてボイラー・タービンを設置している火力発電所の保安確保及びボイラー・タービン主任技術者相互の連携を図ることを目的として、毎年実施しているものです。

会議には、管内の事業者ほか75名の出席があり、原子力安全・保安院及び当支部からは、火力発電に対する安全規制の状況や、法律等の改正などについて説明を行ったほか、事例研究として、住友共同電力㈱新居浜西火力発電所 川崎 裕仁氏から現在建設中の「新居浜西火力 第3号機設置工事について」、四国電力㈱西条発電所 高橋 和良氏から「西条発電所 バイオマス施設設置・運営について」、王子製紙㈱富岡工場 宮本 良之氏から「富岡工場火力発電所 バイオマスボイラー設置工事について」と題して、発表が行われました。

また、翌日には、住友共同電力株式会社 新居浜西火力発電所第3号機設置工事現場及び四国電力株式会社 西条発電所の見学を行いました。

参加者の方々は熱心に説明に聞き入り、自分の事業所と比較して質問されるなど、保安や技術面について高い関心を示されていました。



〈ボイラー・タービン主任技術者会議〉



〈見学会風景〉

保安技術職員等研修「車両系鉱山機械」開催結果

管理課

平成18年7月20日(木)、高知グリーン会館(高知市)において、四国建設機械販売(株)営業部CS課長の日野敏明氏を講師にお迎えして、平成18年度中国四国産業保安監督部四国支部保安技術職員等研修「車両系鉱山機械」を開催しましたのでご報告します。

講義では、地球環境問題や特定特殊自動車排出ガス規制法(平成18年10月施行予定)などのほか、車両系鉱山機械の作業について、カラー写真や図解を使用して分かりやすく解説していただきました。

車両系鉱山機械の取扱や日常点検における注意点は以下のとおりです。

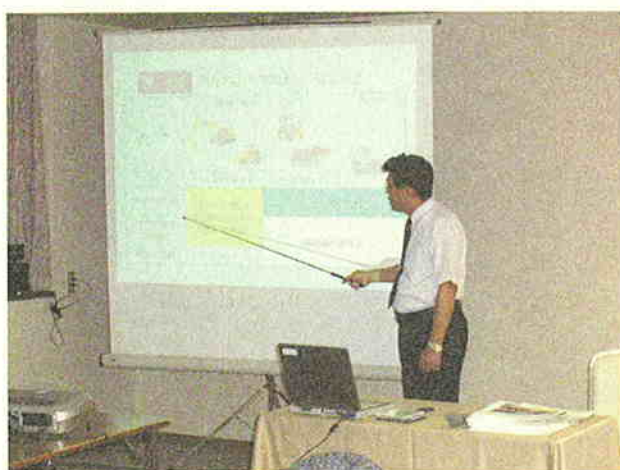
車両系鉱山機械の取扱い注意点

- ・油圧式掘削機械は、凸凹道では自動的に低速に切り替わるが、水平道で自動的に高速に戻るため、危険箇所等では自動運転にせず、手動で低速に切り替えておくこと。
- ・トラックリンクは後進する際に摩耗しやすいため、長距離運転は前進走行すること。

車両系鉱山機械の日常点検における注意点

- ・エアクリナーの清掃はインジケーターに従って行い、頻繁に清掃し過ぎないこと。
- ・夏季はエンジンがオーバーヒートしやすいため、ファンベルトの緩みやラジエーターのフィンにごみや埃が詰まっていないか、ラジエーター内の配管がつまみがないか等を確認すること。ラジエーターの目詰まりは、アイドル状態で作業手袋が貼りつくかどうかで確認する。
- ・エンジンオイルレベルは最低毎朝確認すること。
- ・シリンダの油洩れを点検する際に、シリンダに傷がないか点検すること。

今回の研修では7鉱山から9名の参加がありました。受講後のアンケート結果によると、カラーイラスト等を使った資料が分かりやすく、機械の内部構造など、普段見えない部分がよく分かったとの意見がありました。車両系鉱山機械の仕組みをよく理解して的確な点検を行い、事故防止に努めましょう。



〈四国建設機械販売(株)営業部CS課長 日野敏明氏〉



〈講義風景〉